

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。
そこで各地にある森林事務所や地域の特色、森林官の仕事などを紹介していきます。



【南信森林管理署 阿智森林事務所】
なんしん 森林官 古田 義一

阿智森林事務所は、長野県南部の阿智村の阿智国有林、元嶽国有林、下條村の下條国有林、併せて一、六八〇ヘクタール、阿南町、阿智村、下條村、売木村に位置する官行造林一、〇九二ヘクタールを管理しています。
管内国有林は、カラマツ、ヒノキの林齢四十年生以上の人工林が主に成林し、恵那山に至る標高約一、六〇〇メートルから上部に天然林が残されています。

阿智国有林には、ヘブンス園原スキー場をはじめ、古代東山道、富士見台登山道、神坂峠史跡、恵那山登山道等の名所や観光地がたくさんあります。
古代東山道は大和朝廷が大宝元

年（七〇一）に開設した道と伝えられ、険しい神坂峠を越えて岐阜県へと続き、現在は富士見台への登山道として整備がされ、約二時間三十分で山頂へ登ることが出来ます。



富士見台山頂からの眺望

富士見台の山頂は立木がなく、三六〇度のパノラマが広がり、北アルプス、中央アルプス、伊那谷、中津川方面などが一望できます。また、山頂から富士山が見えるものと楽しみに探しましたが見つかりませんでした。後日、富士



智里地区の一万本の花桃

見台の名前の由来を聞いたところ「富士山が見えるくらい高い山」とのことです、探しても富士山は見えないそうです。

また、阿智村と言えば昼神温泉郷と花桃も有名で、阿智国有林に向かう途中の智里地区で毎年四月中旬から五月中旬まで花桃祭りが開催されており、赤、白、ピンクの花桃約一万本が咲き乱れ一見の価値があります。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染防止対策で、すべてのイベントが中止となり、とても残念

ですが、早く終息して平常の生活に戻ることを祈るばかりです。

■未来の担い手へのメッセージ

近年、想定外の災害が、毎年起こっています。森林整備を行うことで、山を管理し災害を少しでも防ぐことができればと思います。
山は季節ごとにいろいろな顔を見せます。そんな変化を肌で感じながら、森林整備に携わっていきたいと考えています。

先輩方から引き継いだ山を、これからの皆さんが、次の世代へとつなげていってほしいと思います。



治山工事の支障木調査を行っている筆者

受注してくださる民間事業体あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業体からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「森林・林業界からの便り」



木曽森林組合

有村 将哉

(二〇一六年入組)



伐倒方法を確認している筆者

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業

(保育間伐)

発注者・木曽森林管理署

事業内容は、新高国有林九十

・七畝の列状間伐及び保育間伐です。

■現場での役割、魅力

先輩の指示に従いカラマツの伐倒を行っています。切り捨て間伐のため、選木を行い残す木と伐倒木とのバランスを考え間伐をし、後々の作業がしやすいように玉切り、枝払いを行い安全かつ効率よく作業をしています。

また、先輩方から傾斜木の安全な伐倒方法や、樹種の違いで伐倒方法を変え、木や足場を見て臨機応変に対応できるような技術などを教わりました。先輩のアドバイスや自分に合った作業方法など考えながら仕事を進めています。

まだまだ半人前ですが、一人前になれるよう日々精進していきます。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

幼い頃から山の中で遊んだり、山菜やキノコを採ったりしていた。山が身近な存在でした。

中学の頃から、将来は山の中で



カラマツ間伐木を伐倒している様子

■未来の担い手へのメッセージ

林業はとても危険で大変な仕事

働きたいと思い、木曽森林組合に職場体験をさせていただき、木の伐倒や重機を使った集材を見学したことで一層山仕事への憧れが強まり、林業を学べる地元の木曽青峰高校森林環境科に入学しました。

ですが、やりがいと同時に達成感のある仕事です。

また、林業は日本の木材を生産する第一次産業であり、現在では災害の防止や森林浴など、木材を搬出するだけではなく、違う観点でも森林は必要とされています。

大変な仕事ですが無くしてはならない産業です。担い手として一緒に頑張りましょう。



(朝のミーティングの様子「ゼロ災でいこうヨシ」で作業開始)